コロナＰＣＲ検査増やして

安心と感染防止ひろげ、活発な活動回復を！

クリニック等　唾液による検査

医療圏	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山府中	備北	計
施設数	３８６	４２	４８	４０	５２	８３	２２	６７３

・診療に混乱を来さないよう、施設名は非公表
・今後も公募により増やしていく（表数値は８月１６日現在）
・唾液は患者本人が採取し、医療者への感染リスクは低い
・民間検査機関が検体を回収
・医療保険が適用され、患者の自己負担分も公費負担

入院医療・宿泊療養体制の強化

	現在	整備目標
入院病床数	２６６	５００
ホテル部屋数	１５０	７００

「防疫目的でのＰＣＲ検査を増やして」との辻つねお県議（共産党）の申し入れに、広島県は前向きの報告を行いました（表参照）。

しかし、介護・病院・学校・保育所などの職員に対する定期検査については、にえきらない態度、コロナ患者に対応する医療従事者への定期検査を明言するにとどまっています。

議員団では、診療目的の延長線での検査から、防疫目的での検査へと発想を切り替えることが必要との立場から、９月定例市議会での論戦を検討しています。

定期検査済みとの安心感が職員の意欲と活発な活動の担保となるからです。

広島県の対策はどこまで来ているか

日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発　行】
岡野長寿
（0845-22-2596）
三浦とおる
（0848-48-5044）

「特別教室にもエアコンをつけて」小中学校保護者から（市Ｐ連要望書）

８月１７市議会は市ＰＴＡ連合会からの要望書を受け取りました。

その中には共産党議員団が取り上げてきた体育館へのエアコン設置、美術教室など特別教室へのエアコン設置が記載されています。

普通教室へのエアコン設置は完了していますが、特別教室にはエアコンを設置しないなど、解せない態度をとってきた尾道市の猛省が求められます。要望書にあるように、猛暑の中での授業実施が求められる今日、またコロナ対策として密を避けた対応を各学校が工夫せざるを得ない状況にある中、一刻も早いエアコン実施を決断すべきです。

エアコンを個別の要望事項に特記している学校は下記の通り。（御調中央小、栗原北小、西藤小、美木原小、栗原小、瀬戸田中、因北中、因南中、向東中、美木中、日比崎中、久保中）

因島商工会議所から要望
次々と　市議会員と役員の意見交換会開く

８月５日、因島商工会議所で、意見交換会が開かれ、商工会議所役員から、コロナ禍の中、厳しい経済・雇用情勢にあることが報告されました。

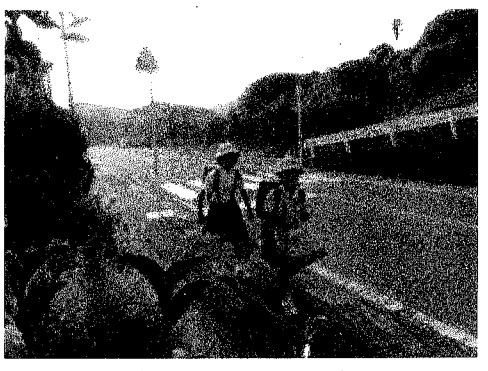
中でも、因島・瀬戸田在住の市民は、新たな就職や解雇整理などでも橋代（交通費がかかる）ということで非常に不利な立場に追いやられていることが指摘され、橋代料金軽減を党派を超えて要求して欲しいと各委員会の長がそれぞれの立場で発言されたことが印象的でした。

また、コロナの関係で海の航路を維持することが困難になっていること、海事都市を標榜する尾道市の支援や因島港湾ビルのトイレ改善などが出されました。

通学路に横断歩道が完成（市教委・瀬戸田支所のみなさん、ありがとう）

瀬戸田町福田、瀬戸田小への通学路に横断歩道が設置されました。

通称「産業道路」と呼ばれ、抜け道となっていることから、速度３０キロ制限の標識はあるものの通勤時間帯はかなりの速度で車が通り抜けていきます。


横断歩道ができたので安心

少し先はカーブとなっており、子ども達はタイミングを見計らって道路を渡り切らなければなりませんでした。

お孫さんをもつＳさんが一念発起、署名活動に立ち上がり、瀬戸田支所への署名提出などを通し、やっと横断歩道ができました。

県や地域、学校、市教委への橋渡しをして頂いた瀬戸田支所の職員のみなさん、ほんとうにありがとうございました。

以前は車が止まってくれません